

診療放射線技師学科（夜間部4年制）

学科の特色

現代医療において、放射線は疾患の正確な診断や治療に欠くことができないものとなっている。特にコンピュータ技術の進歩に伴い、新しい放射線機器が次々と開発されており、医療における診療放射線技師の役割は発展し続けている。そのような放射線技術の高度化や多様性に対応するため、基礎的な知識と技術の修得に加え、医療人として求められる幅広い視野、高い倫理観、コミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。また国家試験に合格するだけでなく、生涯にわたる自己研鑽能力を備えた職業人の育成を目指す。

ディプロマポリシー

本学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、以下の教育的な目的を掲げている。

1. 生命の尊厳を守り、多様な価値観や意思を尊重することができる。
2. 様々な課題に対し、科学的根拠に裏付けされた専門知識と技術で対応できる。
3. 医療チームの一員として他職種と連携・協働できる。
4. 人間性豊かで、高度な専門知識・技術と生涯にわたる自己研鑽能力を備えた職業人を目指す。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するために、以下のような工夫を行なっている。

1. 診療放射線技師として臨床現場の経験を持つ実務家教員が、多くの専門科目の実習を実施することにより即戦力としての知識・技能を養う。
2. 少人数での問題発見・解決型、かつ双方向授業を実施する。グループ学習を通じ、医療の専門家として身につけるべき態度・習慣を能動的に学ぶ。
3. 医療人基礎、医療人間学などの講義や各種ボランティアを通して医療人としての倫理観を養う。
4. 英語、英会話、臨床医学英語の講義でグローバルな視点を養う。
5. 卒業課題研究を通じて、問題を発見し解決する能力を培い研究者としての視点を養う。

アドミッションポリシー

本学科では、ディプロマポリシーに掲げた教育的目的に望ましい医療人として活躍してもらうため、以下に示す姿勢や考えに共感できる人物を求めている。

1. 放射線技術学に強い興味を持ち、それらの知識と技術を修得するための熱意がある人。
2. 相手の立場に立ち、協調性をもって行動できる人。
3. 放射線技術学を学ぶために必要な基礎学力を有する人。

取得目標資格

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1) 診療放射線技師 [国家資格] | (2) 放射線取扱主任者 [国家資格] |
| (3) 医療情報技師 | など |

就職分野

大学附属病院、総合病院、診療所（クリニック）、検診施設、医療機器関連企業、各種研究機関 など